区自立支援協議会の特徴的な取り組み・成果及び今後の計画(令和3年10月)

区	特徴的取り組み・成果	今後の計画
北	■相談支援事業所連絡会の開催	■相談事業所連絡会で抽出された課題を区自立支
	▷今年度より、月に 1 回の開催にしている。	援協議会において共有し、地域での課題を把握。
	北区・東区管内の相談事業所から、ケースを	さらに解決の取り組みを検討する。
	出してもらい、ケース検討している。また、	■相談支援班
	各事業所の相談員にファシリテーターを務め	障がいから高齢へ切り替えの際の引継ぎと
	てもらい、ファシリテーション能力の向上を	8050 問題に関する勉強会を、北区内の 3 つの包
	図っている。	括支援センターと検討中。
	■グループ別検討の実施	■療育班
	▷昨年度に引き続き、3 つのテーマ(相談支	就学前から就学後の縦の連携をテーマに、 児童
	援・地域生活拠点・療育)別に班を編成。地域	発達支援、障害児計画相談、特別支援学校の連絡
	課題の整理、課題解決するための検討を行っ	会開催を予定。また、11/10(水)新潟市小学校
	ている。来年度の班活動についても検討して	教育研究会(市教研)で、「教育と福祉の連携」
	いる。	をテーマにした研修を実施予定。
		■地域生活拠点班
		新潟太陽福祉会の新潟市強度行動障がい者(児)
		フォローアップ事業の活用状況の共有。何があれ
		ば行動障がい、触法等で支援が困難な方を受け入
		れる通所、GH が増やせるのか検討中。
	■相談事業所連絡会の開催	■相談事業所連絡会の開催
	▷4月から8月まで5回開催。新型コロナ感	■ケース検討会の開催
	染防止のため、9月開催は中止。	■「療育」をテーマとした勉強会の開催
	▷IP 法によるケース検討のほか、7月の連絡	
	会では成年後見制度の研修を実施した。	
=	■「療育」「移動支援」「8050 問題」の3つの	
東	テーマについて、区協議会委員が班を分けて	
	意見交換を行うこととした。	
	■地域生活支援拠点整備事業について	
	▷東区の課題や強み、目指す姿について各委	
	員がラフイメージを作成し、それを基に意見	
	交換を行った。	

	■ケース検討会の開催	■ケース検討会の開催
	▷ケース検討を通じた地域課題の把握と整	・ケース検討を通じた地域課題の把握と整理
	理。	・地域定着支援センターについて研修会
	■相談支援事業所連絡会の開催	■相談支援事業所連絡会の開催
	▷業務の手引きの確認。	ケース会議の充実、計画相談の質の向上を図る。
中央	■就労支援連絡会開催	■就労支援連絡会開催
	▷コアメンバー会議の実施。	就労移行支援事業所むけ研修会
	■8050 連絡会	■8050 連絡会
	▷圏域の5包括を訪問し情報共有	包括と連携し情報共有の継続
	2包括より圏域ケア会議にて 8050 調査の研	■子ども連絡会
	修依頼あり。	左記を継続し特別支援学級の状況把握を行う。
	■子ども連絡会	
	▷特別支援学級のコーディネーターの先生と	
	の意見交換。	
	■地域生活支援拠点等整備に向けた取組み	■地域生活支援拠点等整備を重点事業として引き
	▷5月、8月に協議会委員によるワークショ	続き取り組む。今年度末までに江南区として計画
	ップを実施。	案の叩き台を作成する。
	■児童支援部会の取組み	■セミナーの総括を行い、併せてセミナー実施後の
	▷7月29日 江南区児童支援セミナー開催	連携状況を確認する。
	参加者:区内小・中学校管理職、担当教諭	また、来年度以降も定期的にセミナーを開催す
\ \:T	放デイ事業所、相談支援事業所 等	る。
江 南	計 5 6名	■ケース会議の開催
	成 果:福祉事業所と学校関係者とで連携	IP 法によるケース検討。相談員の意見交換会等。
	のきっかけづくりを行うことがで	
	きた。	
	■ケース会議の開催	
	▷IP 法によるケース検討。相談員の意見交換	
	会等	

秋 葉

■障がい児支援

▷支援ファイルの配付を継続し、活用方法を 周知すると共に活用状況を把握

▶「障がい児つながる支援セミナー」を開催 (R3.8.2)

区内小中学校、放課後等デイサービス事業所、 相談支援専門員等を対象として、「教育と福祉 の連携」をテーマに小中学校の先生から事例 紹介をしてもらうと共に、情報交換など関係 づくりを行った。

■医療と福祉の連携

▷医療的ケアが必要な障がい児者の家族が意 見交換できる「集いの場」は、今年度も中止 となったため、「集いの場」に代わる取り組み □区相談連絡会の開催 の検討を行った。

■地域の移動について

▷「通学」に関する実態把握のため、特別支 援学校に通う児童・生徒の保護者及び特別支 援学校の先生に対してアンケートを実施。

- (6月下旬配付、7月下旬回収)
- ■地域生活支援拠点等事業について ▶ワークショップ形式で支援者の立場から地 域にあると良いと思う社会資源や支援の抽 出・共有を行った。
- ■区相談連絡会の開催

▷月に1回、区内の相談支援専門員が集まり、 事例検討やグループスーパービジョンを実 施。

■障がい児支援

- ・支援ファイルの配付継続・活用方法の周知
- ・「障がい児つながる支援セミナー」の振り返り 及び来年度の開催内容の検討
- ■医療と福祉の連携

「集いの場」に代わる取り組みの検討及び実施

■地域の移動について

「通学」に関するアンケートの集計結果を分析 し、実態把握を行う。

- ■地域生活支援拠点等事業について ワークショップにより見えてきた地域課題を地 域生活支援拠点等事業の5つの機能と照合し、マ ッチングを図る。

	■地域生活拠点事業の取り組み	■地域生活拠点事業の取り組み
南	▷地域の資源やいいところについてまとめた	・これまでの区協議会で挙がった地域課題と拠点
	もの(前回までの成果)を共有	事業の機能との整理
	▷各委員によるワークショップを実施(テー	・地域資源を活用できる体制の検討
	マ「南区でより豊かな生活をおくるためにあ	■児童のワーキンググループ
	ったらいいと思う資源や支援」)	・障がい児の各年代における課題の整理
	■児童のワーキンググループ	・関係機関合同研修会の開催
	▷関係機関を対象とした合同研修会につい	・早い段階から関わっていくためのネットワーク
	て、開催内容等を協議	づくり
	■南区ケース会議の報告	
	▷事例を用いたケース検討	
	▷サービス事業所との意見交換会	
	▷スキルアップのための勉強会	
	■途切れない支援連絡会(西・西蒲)の開催(①	■地域課題の解決に向けた、各専門会議の
西	5/28、②7/26、③9/27)	開催
	▷障がい児に対する療育機能の充実を図るた	・途切れない支援連絡会
	め、令和3年度から開催。保健師や児童相談	・グループホーム連絡会議
	所、教育支援センター等に集まってもらい、	・生活支援拠点等会議
	課題等について情報共有を行った。	・高齢・医療連携会議
	■グループホーム連絡会議の開催(6/14)	・西区ケース会議
	▷西・西蒲区にあるグループホームによる意	・相談支援事業所会議
	見交換会を行い、各グループホームの状況に	・ひきこもりびとミーティングへの参画
	ついて情報共有を図った。GH11事業所が	■見学会、研修会の実施
	参加。	・障がい者虐待防止研修会
	■西区ケース会議の開催(①4/30、②6/12)	
	▷西区自立支援協議会委員や相談支援事業所	
	相談員によるケース検討を行った。	
	■相談支援事業所会議の開催(①6/21、②8/12)	
	▷相談支援事業所相談員が困っていることや	
	相談したいことなどを挙げてもらい、意見交	

換や状況共有を行った。

■療育支援会議

▷こども支援会議…就学前~小・中の関係機 関の連携,情報共有を図る。

・保育園等の園長,主任会(7月)において障 がい児福祉制度の説明を行った。

施設・療育支援関係者の情報共有及び連携を 図る。

- ・5 月に第1回を開催し、各機関の現状と意 見交換,情報共有を行った。
- ■生活支援会議の開催

▷R2年度に行った地域生活支援拠点事業の 検討から見えてきた課題について掘り下げ る。

- ①「強度行動障がい者(児)への支援」(8月)
- ②「障がい者と親の高齢化」
- ③「障がい者の意思決定支援」
- ■西区・西蒲区グループホーム連絡会議を西区 自立支援協議会と共催

■療育支援会議

- ・こども支援会議…発達支援コーディネーター研修 会(10月), 小学校教頭会(10月)において障がい 児福祉制度の説明を行う。
- ▷がく・ふく連携会議…特別支援学校・福祉 ・がく・ふく連携会議…主に卒業生の進路選択に伴 う情報共有を中心に第2回(2月)を開催予定。

■生活支援会議の開催

後期に以下2点についてケース会議を交えなが ら開催する予定。

- ②「障がい者と親の高齢化」
- ③「障がい者の意思決定支援」

西蒲